

表-8 一酸化炭素(CO)の測定結果
〔自動車排出ガス測定局〕

地域	市町名	測定局	年度	日平均値 の2%除 外値	日平均値が 10ppmを超え た日が2日 以上連続し たことの有 無	環境基準 適合状況
				ppm	有×無○	
その他 の地域	桑名市	国道258号桑名	5	0.5	○	○
			6	0.5	○	○
	鈴鹿市	国道23号鈴鹿	5	0.5	○	○
			6	0.5	○	○
	亀山市	国道25号亀山	5	0.4	○	○
			6	0.4	○	○

注)表-8
環境基準の長期的評価は、年間にわたる日平均値の測定値の高い方から2%の範囲内を除外した
最高値(2%除外値)と環境基準値(日平均値が10 ppm以下であること。)を比較して行います。
ただし、日平均値が10 ppmを超える日が2日以上連続した場合には、このような取扱いを行わず
非達成と評価します。

表-9 微小粒子状物質(PM2.5)の測定結果
〔一般環境測定局〕

地域	市町	測定局	年度	年平均値	日平均値の 年間98%値	環境基準 適合状況
				($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
四日市 地域	四日市市	四日市商業高校	5	11.4	28.1	○
			6	13.4	29.4	○
		三浜	5	9.4	21.7	○
			6	9.1	24.3	○
		北星高校	5	10.5	24.0	○
			6	10.0	27.5	○
その他 の地域	川越町	川越南小学校	5	8.7	20.0	○
			6	8.5	21.3	○
	桑名市	桑名上野	5	8.8	20.4	○
			6	8.3	21.6	○
	いなべ市	大安中学校	5	8.3	19.3	○
			6	7.9	21.4	○
	鈴鹿市	鈴鹿算所保育所	5	9.4	23.3	○
			6	9.5	26.3	○
	亀山市	亀山みなみ保育園	5	9.5	23.7	○
			6	9.3	27.8	○
	津市	津河辺配水場	5	9.9	22.9	○
			6	9.8	27.5	○
		津立成小学校	5	8.6	18.5	○
			6	8.3	22.8	○
		林業研究所	5	8.2	17.9	○
			6	8.2	22.8	○
	松阪市	松阪第五小学校	5	9.2	22.0	○
			6	9.1	26.7	○
	明和町	明星小学校	5	8.8	20.2	○
			6	8.7	22.9	○
	伊勢市	伊勢厚生中学校	5	8.3	19.4	○
			6	8.3	23.3	○
	鳥羽市	鳥羽高校	5	7.0	17.0	○
			6	7.2	21.8	○
	志摩市	鵜方	5	6.6	16.7	○
			6	6.9	18.8	○
	伊賀市	伊賀柘植	5	9.1	19.8	○
			6	8.5	24.9	○
		伊賀緑ヶ丘中学校	5	9.8	22.4	○
			6	9.3	29.7	○
	名張市	名張小学校	5	9.9	21.8	○
			6	9.4	27.3	○
	尾鷲市	尾鷲旧県職員公舎	5	8.8	20.2	○
			6	8.2	21.6	○
	熊野市	熊野木本中学校	5	8.1	18.3	○
			6	7.8	21.5	○

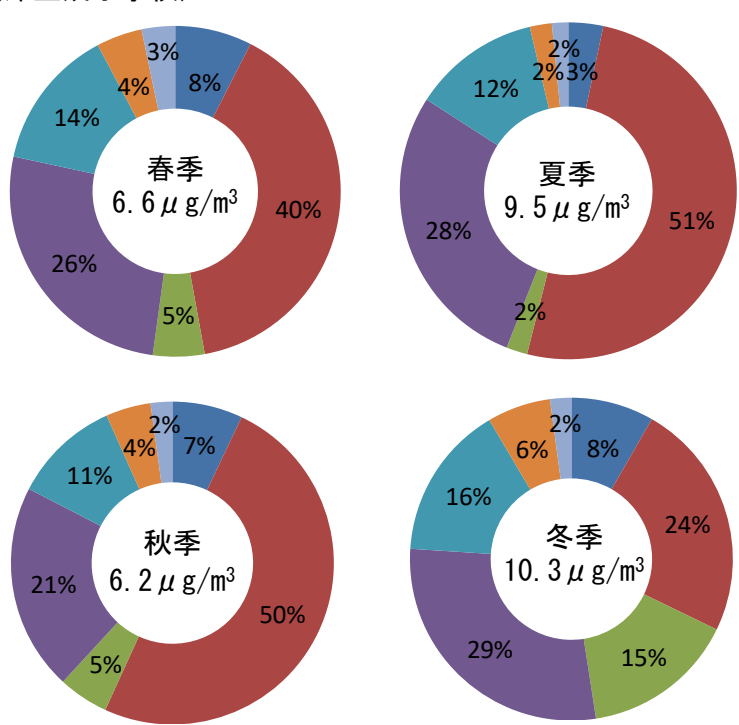
表-10 微小粒子状物質(PM2.5)の測定結果

〔自動車排出ガス測定局〕

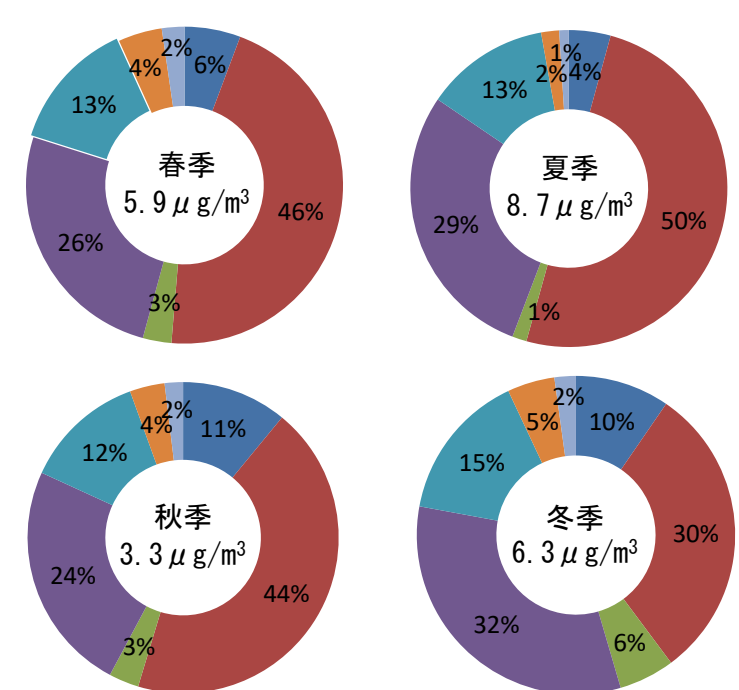
地域	市町名	測定局	年度	年平均値	日平均値の 年間98%値	環境 基準 適合 状況
				($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
四日市 地域	四日市市	北消防署	5	9.9	22.5	○
			6	10.0	25.9	○
		納屋	5	10.2	24.9	○
			6	9.8	26.5	○
その他 の地域	桑名市	国道258号桑名	5	8.1	20.3	○
			6	8.4	21.8	○
	鈴鹿市	国道23号鈴鹿	5	10.2	25.0	○
			6	9.2	25.7	○

注)表-9、表-10
環境基準の長期基準に係る評価は、測定結果の一年平均値を長期基準(15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)と比較して
行います。
短期基準に関する評価は、年間にわたる日平均値の測定値の低い方から98%目に当たる値を短期基準
(35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)と比較して行います。
環境基準の評価は、長期基準と短期基準の両方を満足した場合に達成されたとします。

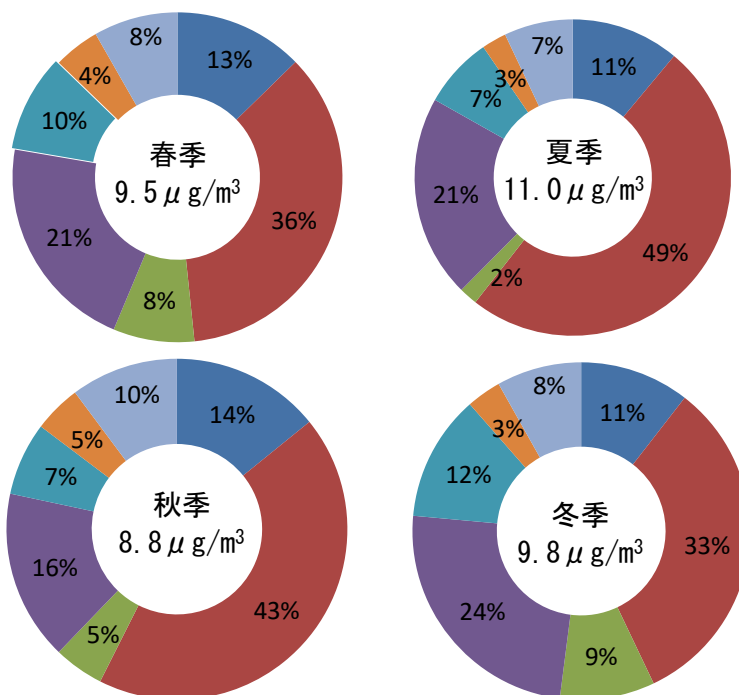
図-1 微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析結果
(津立成小学校)



(尾鷲旧県職員公舎)



(納屋)



■元素状炭素 ■有機炭素 ■硝酸イオン ■硫酸イオン ■アンモニウムイオン
■塩化物イオン、ナトリウムイオン、カリウムイオン、カルシウムイオン ■その他(アルミニウム、鉄等)

注)図-1
値はそれぞれ次の調査期間の平均値です。
春季: 令和6年5月9日から令和6年6月1日の間で約2週間
夏季: 令和6年7月18日から令和6年8月3日の間で約2週間
秋季: 令和6年10月17日から令和6年11月2日の間で約2週間
冬季: 令和7年1月16日から令和7年2月1日の間で約2週間